

# 農作業特報

魚津市  
魚津市農業技術協議会

育苗管理は、天候の変化に応じて適切な温度管理やかん水を徹底し、健苗育成に努めましょう。また、コシヒカリの田植えは5月15日を中心に行うとともに、植付本数や植付深さ、田植え後の水管理に注意し、初期分けつの発生を促しましょう。

## 1 育苗期後半の管理

- かん水は1日1回、午前中に行うのが基本です。夕方のかん水はハウス内の温度を下げるので避けましょう。ただし、葉が巻くほど乾いた場合は、適宜かん水して下さい。
- ハウス内の温度は20～25℃を目標に、こまめに換気しましょう。  
晴天日だけでなく曇りの日でも早朝から換気して下さい。
- 田植えの1週間前からは夜間もハウスのすそを上げ、外気に慣らしましょう。

## 2 代かき

- 代かきから田植えまでの日数が長いと、除草剤の散布前に雑草の生育が進んでしまうため、十分な除草効果が得られない場合があります。代かきは田植えの3～4日前に計画的に行いましょう。
- 代かきは少なめの水で行い、稲わら等をしっかり鋤き込みましょう。また、代かき後の濁り水は水田外へ流さないようにして下さい。
- 代かき時に、水田から基肥一発肥料などの被覆殻が流出しないように注意しましょう。

除草剤と間違わないようラベルを確認！

## 3 苗箱施薬

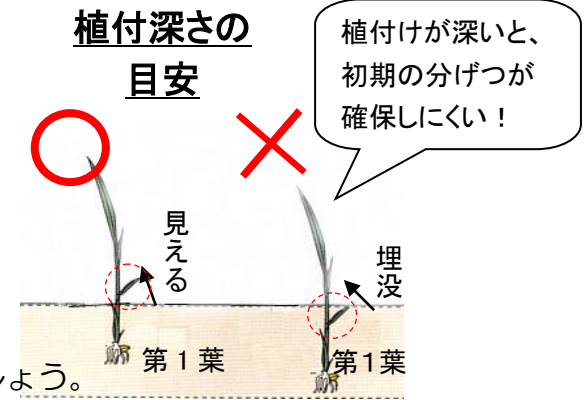
区分	使用農薬	散布量	施薬時期
一般	ブイゲットパディート粒剤	50g/箱	緑化期～移植当日
紋枯病対策	ルーチンブライト箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前)～移植当日



※水稻育苗後にハウス内で野菜などを栽培する場合は、ハウスから苗を搬出してから、苗箱施薬剤を施用しましょう。

## 4 田植え

- 田植時期 (コシヒカリ)：平場 5月15日中心  
山手 5月10日頃
- 植付株数：穂数を確実に確保するため、70株植えを基本とする。
- 植付本数：3～4本/株
- 植付深さ：3cm程度  
※第1葉は埋没させず、見えるように植えましょう。
- 基肥 (コシヒカリ)：土壌条件に応じ適正な基肥量を厳守



基準量	施肥体系	土壌条件	肥料名	施用量 (kg/10a)
	一発体系	沖積砂壤土	Jコートコシヒカリ1号	35 (側条)
		洪積黒ボク	Jコートコシヒカリ2号	30 (側条)
分施体系	-	基肥 206	30 (側条)	

(注) Jコートコシヒカリは従来品より比重がやや軽くなっているため、適正な基肥量となるよう施肥機の繰出し量を事前に調整しましょう。

## 5 田植え後の水管理

- 田植え後3日程度は、苗が水没しない程度のやや深水にし、根の活着を促しましょう。低温や強風時もやや深水で苗を保護して下さい。
- 活着後は、日中は止水、浅水管理で初期分けつの発生を促しましょう。

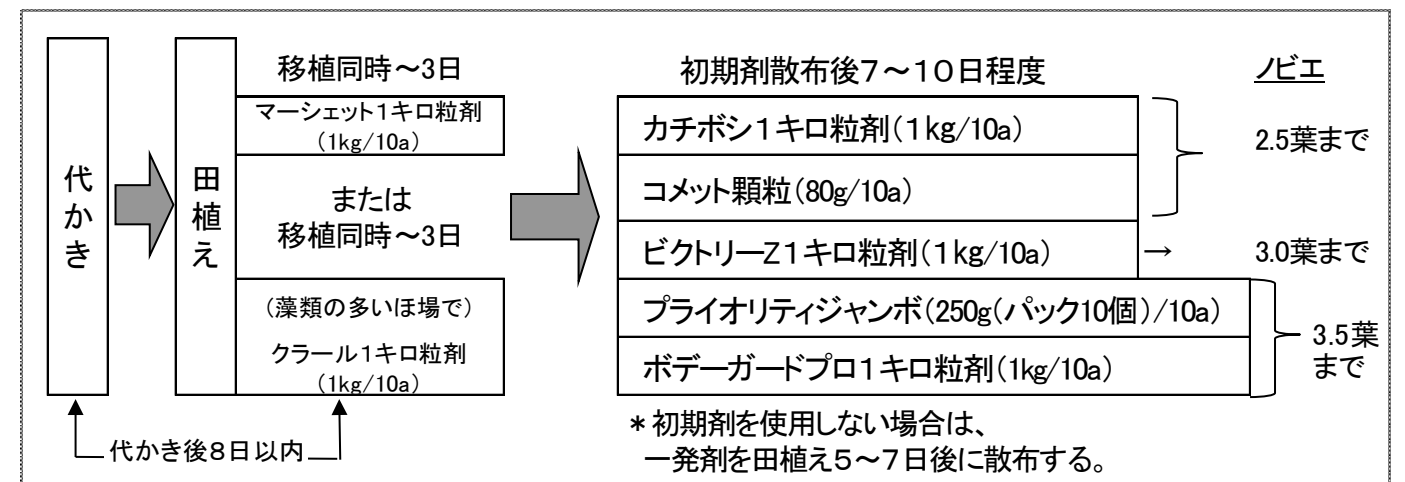
## 6 水田雑草防除

### 【効果的な除草剤の使い方】

- 代かきから田植えまでの期間は長くしない。
- 除草剤の散布は遅れずに計画的に行う。
- 田面が露出しないよう、5cm程度の深水状態で散布する。
- 除草剤散布後7日間は止め水とし、落水やかかけ流しをしない。
- 田面の均平や畦畔からの漏水防止に留意し、除草効果を持続させるようにする。

農薬は使用基準を守って使用し、栽培履歴をしっかりと記録しましょう！

### 【除草剤散布の目安】



\* 初期剤を使用しない場合は、一発剤を田植え5～7日後に散布する。